



住民不在の特定整備路線

国は認可取り消しを

吉良よし子議員が参院決算委員会で国交省を追及



特定整備路線に関する国交省ヒアリングであいさつする吉良議員 =23日、国会内

日本共産党の吉良よし子参院議員は4日の決算委員会...

吉良議員はまず、国交省による特定整備路線の事業認可に対して、住民から提出されている行政不服審査請求の処理状況について質しました。

行政不服審査裁判は1割にも満たず

国は、特定整備路線28区間の中で10区間から合計4262件の不服審査請求が出されて...

吉良議員は、「現時点で3942件が（裁決されないで）残されたまま事業が進んでいる。国交省の未裁決請求のうち32%にあたる。これひとつをとっても、住民との合意形成ができていない事業であることは明らか

都からの申請の中身も貴重文化財を壊す計画であることを告発。山ハッピーロードなど都内有数の商店街や、

道路計画の見直し国から指導を 吉良議員は、特定整備路線は十分な説明を欠き、住民の納得も合意も得ないまま事業認可されたと指摘し、

Table and text regarding the impact of road plans on the surrounding area, including a table with categories like 'Historical streets' and 'Public facilities'.

地域力で子どもの居場所づくりを

でんでん子ども応援隊が活動20周年記念シンポジウム

学習サポート事業など、子どもたちの未来のために学びあい・支えあう地域づくりを進めてきた、でんでん子ども応援隊が活動20周年、NPO法人化10周年を迎え、2日に北とぴあで記念シンポジウムを開きました。

パネリストに、北区教育委員会の水浦茂樹、統括指導主事、区内小学校教諭の本谷あゆみ氏、北区社会福祉協議会の上田文子氏、でんでん子ども応援隊の長田真知子理事長を迎え、北区での教育と、子ども支援の現状について交流しました。

も、子ども食堂を運営するスタッフやフリースクールの代表、区議会議員、大学教授などから活発な発言が寄せられ、地域の力を結集した子どもたちの居場所づくりの必要性が浮き彫りになりました。

今後とも、でんでん子ども応援隊に期待します。(のの山けん)



岩淵町

八雲神社祭礼



2日、3日は岩淵町の八雲神社祭礼。今年は本祭りで、大小の神社神輿が賑やかに町内を練り歩きました。2日夜には境内で開催された恒例の音楽イベントを楽しみました。(のの山けん)